

2022 年度 授業計画(シラバス)

| | | | | | | |
|---------|-------------|-----------------|---|------|-----------|---------------|
| 学 科 | 理学療法士学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 演習 |
| 科 目 名 | 運動器系理学療法学演習 | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 302 他 |
| 担 当 教 員 | 松本 康佑 | 実務経験と その関連資格 | 理学療法士として回復期病院での経験あり。また、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格を有する。 | | | |

《授業科目における学習内容》

病院や地域を想定した運動器系疾患に対して、対象者の自立生活を支援するために必要な課題解決能力(理学療法実践力)を培う。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100%)で評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

理学療法テキスト 運動器障害理学療法学 I II(15レクチャーシリーズ)

標準整形外科学 第13版

配布資料

《授業外における学習方法》

教科書を用いて講義内容の予習・復習をする。

《履修に当たっての留意点》

教科書等の忘れ物がないように注意し、課題等は提出期限を厳守すること。

| 授業の 方 法 | 内 容 | | 使 用 教 材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------------|---------------------|-----------------------------|-------------|----------------------------|
| 第1回 演習形式 | 授業を通じての 到達目標 | 症例提示より、必要な検査項目を列挙できる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマに おける 授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例1) | | |
| 第2回 演習形式 | 授業を通じての 到達目標 | 検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマに おける 授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例1) | | |
| 第3回 演習形式 | 授業を通じての 到達目標 | 課題解決のための資料・文献を収集することができる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマに おける 授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例1) | | |
| 第4回 演習形式 | 授業を通じての 到達目標 | 集取した文献から治療プログラムを立案できる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマに おける 授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例1) | | |
| 第5回 演習形式 | 授業を通じての 到達目標 | 担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義 内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマに おける 授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例1)(教員解説含む) | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|-----------------------------|-------------|------------------------|
| 第6回 | 授業を通じての到達目標 | 症例提示より、必要な検査項目を列挙できる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例2) | | |
| 第7回 | 授業を通じての到達目標 | 検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例2) | | |
| 第8回 | 授業を通じての到達目標 | 課題解決のための資料・文献を収集することができる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例2) | | |
| 第9回 | 授業を通じての到達目標 | 集取した文献から治療プログラムを立案できる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例2) | | |
| 第10回 | 授業を通じての到達目標 | 担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例2)(教員解説含む) | | |
| 第11回 | 授業を通じての到達目標 | 症例提示より、必要な検査項目を列挙できる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例3) | | |
| 第12回 | 授業を通じての到達目標 | 検査測定結果より、重要課題の抽出とその理由が述べられる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例3) | | |
| 第13回 | 授業を通じての到達目標 | 課題解決のための資料・文献を収集することができる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例3) | | |
| 第14回 | 授業を通じての到達目標 | 集取した文献から治療プログラムを立案できる | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例3) | | |
| 第15回 | 授業を通じての到達目標 | 担当症例の自立生活を支援するプレゼンテーションが行える | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 運動器障害の理学療法の実際(症例3)(教員解説含む) | | |